

海外の専門家が可能性を引き出す



海外市場に精通した専門家を日本に招いたり、イタリアで伝統的工芸品をアピールするショップがオープンしたり。海を越えた連携が、広がっています。

◆熊谷聯商店

京焼・清水焼が出来上がるまでの工程を、段階的に表現したマルチカップセットが完成。「連結」するデザインがポイントです。



◆木本硝子

海外専門家が、新たな日本酒の飲み方として「Sake Ceremony」を提唱。コンセプトに合う江戸硝子の酒器セットを開発しました。

海外で売る。そのためには、現地のニーズを的確にとらえた商品の企画・開発が不可欠。準備段階から「海外向け」を意識しておくことが大切です。

そこで、現地の市場に精通したデザイナーやバイヤー、コーディネーターなどを海外から招へい。継続的なサポートで商品開発を後押しする取り組みが、「海外専門家招聘支援事業(NEXT MARKET-IN事業)」です。

「結果を出しつつあり、自信を深めています」と手応えを語るのは、この事業の実施責任者である西堀耕太郎さん。京和傘で知られる日吉屋の5代目であり、各地の伝統産業の海外展開事業をプロデュースする、T.C.I.研究所の代表も務めています。

「例えば海外での展示会に参加しても、まったく現地のライフスタイルや趣向に合わなかったり、流通経路が異なるため取り扱ってもらえなかったり。海外展開を断念

経済産業省 | 担当者の声

今こそ、「伝産維新」を!

伝統的工芸品と聞くと、皆さん何を思い浮かべますか。江戸時代使われていた食器? 昔ならの仕事続ける職人達?

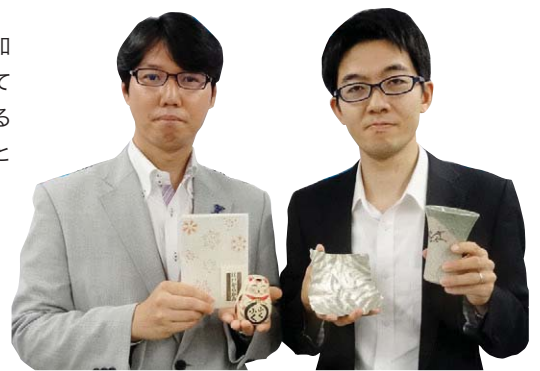
でも、それらは過去において「最先端」のものであったことをお忘れではないでしょうか。「伝統」と名前が付くものについて、「昔のまま何も変わらないことが素晴らしい…」と言う方がいます。そういった価値観も大切です。しかし、過去の日本人は、「伝統」をそのような概念で捉えていませんでした。明

治・大正期には、工業化されていく日用品や輸入品に負けないよう、職人達は従来の技術を活かし、より洗練されたデザインや商品を生み出し、反対に伝産品を、外貨を稼ぐ主要品目にまで育て上げました。

工業化の進展、安価な海外製品の増加…約100年を経て、再び各産地に訪れている試練に立ち向かう、現代の革命者たる伝産品事業者達を、しっかり支えていくことが我々の使命だと考えています。

商務情報政策局 伝統的工芸品産業室
松村栄作 室長補佐(左)
藤枝 隆 (右)

「伝産法」の運用、経産大臣が指定する伝統的工芸品の産業振興を担当しています。「日本人らしさ」の結晶である伝産品は、クールジャパンの核となるものですが、疲弊産地が少なくないのが現状です。様々な施策をフル稼働させ、状況を打破すべく日々奮闘中です!



してしまうケースを、数多く見てきました」

それでも試行錯誤を繰り返す中で、少しずつ海外の代理店やデザイナーとのネットワークを構築。彼らのアドバイスを得て、商品の改良や販路の拡大を進めていきました。この西堀さんの経験を元に独自に構築した海外展開手法(T.C.I.メソッド)が、「NEXT MARKET-IN 事業」の土台となっています。

「デザイン、共感を呼ぶストーリー、特殊な技術や素材。これらを重視した、日本ならではの商品が求められています。歴史を紐解くと、誕生してから現在まで、変化していない商品というのはほぼ皆無でしょう。なぜなら、市場環境に適応できなければ衰退していくからです。“伝統は革新の連続 -Tradition is Continuing Innovation-”という考え方のもと、新しい市場に適応した商品を、自らの高い技術を生かしてつくる。そして、フラットに自分を見つめ直す目と、変化を恐れない気持ちを持つ。そんな姿勢でものづくりができれば、可能性は大いに広がると確信しています」



京和傘 日吉屋 五代目当主
(兼T.C.I. 研究所代表)
西堀耕太郎さん

2004年に5代目就任。企業理念は「伝統は革新の連続である」。伝統の継承のみならず、新商品を積極的に開発し、グローバル・老舗ベンチャー企業を目指す。

CLICK! ● Next Market In ~
Contemporary Japanese
Design Project

◆ 井助商店

伝統的京漆器のデザインが進化。漆と無垢の木のコントラストを生かした、「漆の木」をイメージしたテーブルウェアです。



ミラノの街で 和の魅力を発信

現在開催中の「ミラノ国際博覧会」に合わせて、伝統的工芸品産業振興協会は、ミラノ市内に期間限定の展示場「伝統工芸ミラノスクエア」をオープンしています(5月1日~10月31日まで)。日本各地の伝統的工芸品の紹介はもちろん、海外市場の獲得などを見すえたテストマーケティングも実施。さらに現地の和食レストランと連携したイベントや、職人による実演など、「多様な文化の中に取り入れてもらう」ための積極的なPRを続けています。



CLICK! ● 伝統工芸ミラノスクエア

「日本のモノづくり技術と海外のデザインを融合させた売れる商品開発支援を」

「海外専門家招聘支援事業(NEXT MARKET-IN 事業)」では、海外展開を目指す中小企業・小規模事業者のために、海外現地の市場ニーズに精通する海外の専門家を招聘しています。そして、継続的に商品の企画開発のアドバイスを行うとともに、海外展示会出展を通じた現地ニーズの確認や商品改良のフォローアップを行うことにより、国内の準備段階から現地の市場ニーズを的

確に反映させた海外向け商品の開発支援を行う事業です。海外専門家が、企業の商品開発段階から関与し、工場等の現場にも赴いてもらうことで、海外専門家ならではの視点から企業の強みや商品の魅力を引き出すことができると考えています。

当該事業等を通じて、海外市場に新たな活路を見出し、海外展開後も成長していく中小企業・小規模事業者を応援していきます。

中小企業庁 経営支援部 創業・新事業促進課
中嶋 和 海外展開二係長(左)
林 達也 海外展開係長(右)

創業・新事業促進課 海外展開支援室では、中小企業・小規模事業者の方々の海外展開に向けて、情報提供から事業計画策定支援、販路開拓支援、現地進出後のフォローアップまで、幅広くサポートを行っています。

